

環境経営レポート

2022年度

対象期間：2022年8月～2023年7月



ニッポウ興産株式会社

作成日：2023年 9 月 25 日

目次

1. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3~12
3. 主な環境負荷の実績・・・・・・・・・・・・・・・・P13
4. 環境経営目標及びその実績（中長期目標）・・・・・・・・P14~15
5. 環境経営目標及びその実績（実績と評価）・・・・・・・・P16~17
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容・・・P18~19
7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無・・・・・・・・・・P20
8. 代表者による全体評価と見直し・指示・・・・・・・・・・P21

1.環境経営方針

環境経営理念

ニッポウ興産株式会社は、持続的成長が可能な未来を実現すべく、経営における課題とチャンス定期的に明確にし、環境と調和した事業活動を通じて、環境保全活動に取り組みます。

環境経営方針

1. 環境に配慮したサービスを提供し、お客様の環境負荷の低減及びSDGsの達成に貢献します。
2. 環境関連法規制等を遵守します。
3. 次の取り組みを推進し、継続的改善を行います。
 - ①エネルギー使用の合理化による二酸化炭素排出量の削減
特に燃料使用量の効率化
 - ②水使用量の削減
 - ③リサイクル処理の推進
 - ④ペーパーレス化の推進
4. 環境経営方針を全従業員に周知し、環境意識の向上を図り、環境に配慮した行動の定着を目指します。
 - 4.1 運用マニュアル（文書管理）・資材管理を徹底し、資材使用の効率化、保管整理に係る作業コストの削減を図り、環境負荷を軽減する。

2020年 4月 22日 制定

2022年 8月 1日 改訂

ニッポウ興産株式会社
代表取締役 田中 憲

2.組織の概要

1. 事業所及び代表者

ニッポウ興産株式会社
代表取締役 田中 憲

2. 所在地

本社 兵庫県姫路市飾磨区野田町157番地2
TEL(079)286-8626 FAX(079)286-8627
岡山事業所 岡山県都窪郡早島町大字早島字真磯720番1、721番
TEL(086)483-2336 FAX(086)480-1145
倉敷事業所 岡山県倉敷市茶屋町早沖字四番川1203番1
TEL(086)420-2727 FAX(086)420-2728
高知事業所 高知県南国市久礼田506番地
TEL(088)862-3136 FAX(088)862-3137

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者(担当者)
常務取締役 田中 亮 TEL(079)286-8626
<https://nippou-kousan.co.jp/>

4. 事業内容

- ①産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業
- ②中間処理事業（産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の中間処理業）
（圧縮・減容・破砕、高圧蒸気滅菌）

5. 法人設立年月日

昭和62年9月26日

6. 資本金

3,000万円

2.組織の概要

7. 事業の規模（2022年8月～2023年7月）

売上高	44,700万円	
従業員数	14名	
床面積	本社	152.34㎡
	岡山事業所	1,243㎡
	倉敷事業所	1,320.99㎡
	高知事業所	1389.26㎡
受託した産業廃棄物の処理量（処理実績）		
廃棄物収集運搬量	9,484.7 m ³	
受託した中間処理量	194.4 m ³	

8. 事業年度

8月～翌7月

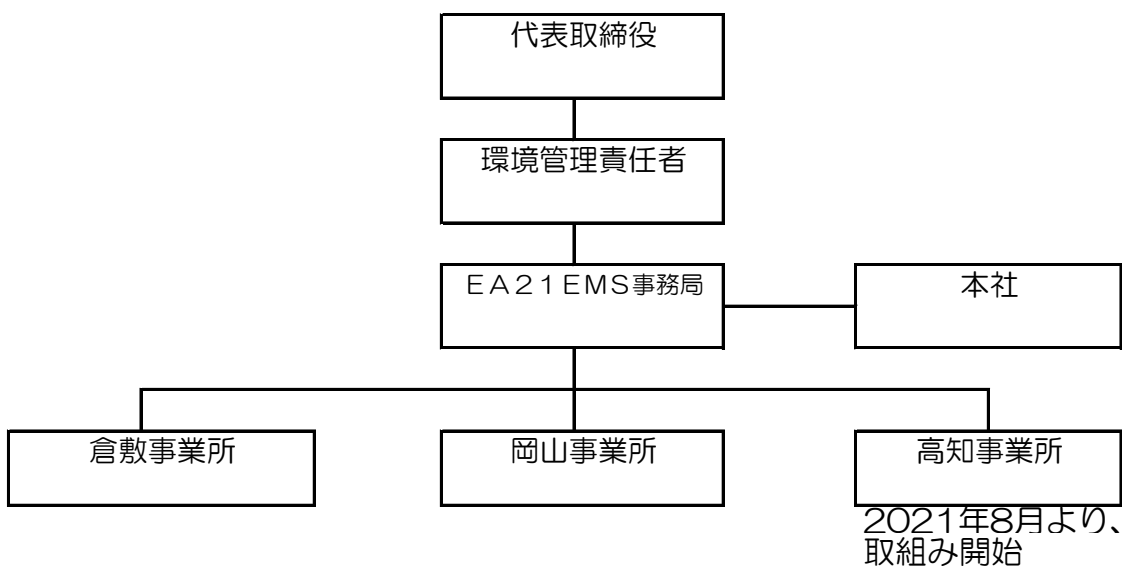
9. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：ニッポウ興産株式会社

対象事業所：本社、岡山事業所、倉敷事業所、高知事業所

活動：（特別管理）産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業

10. 環境経営システム組織図



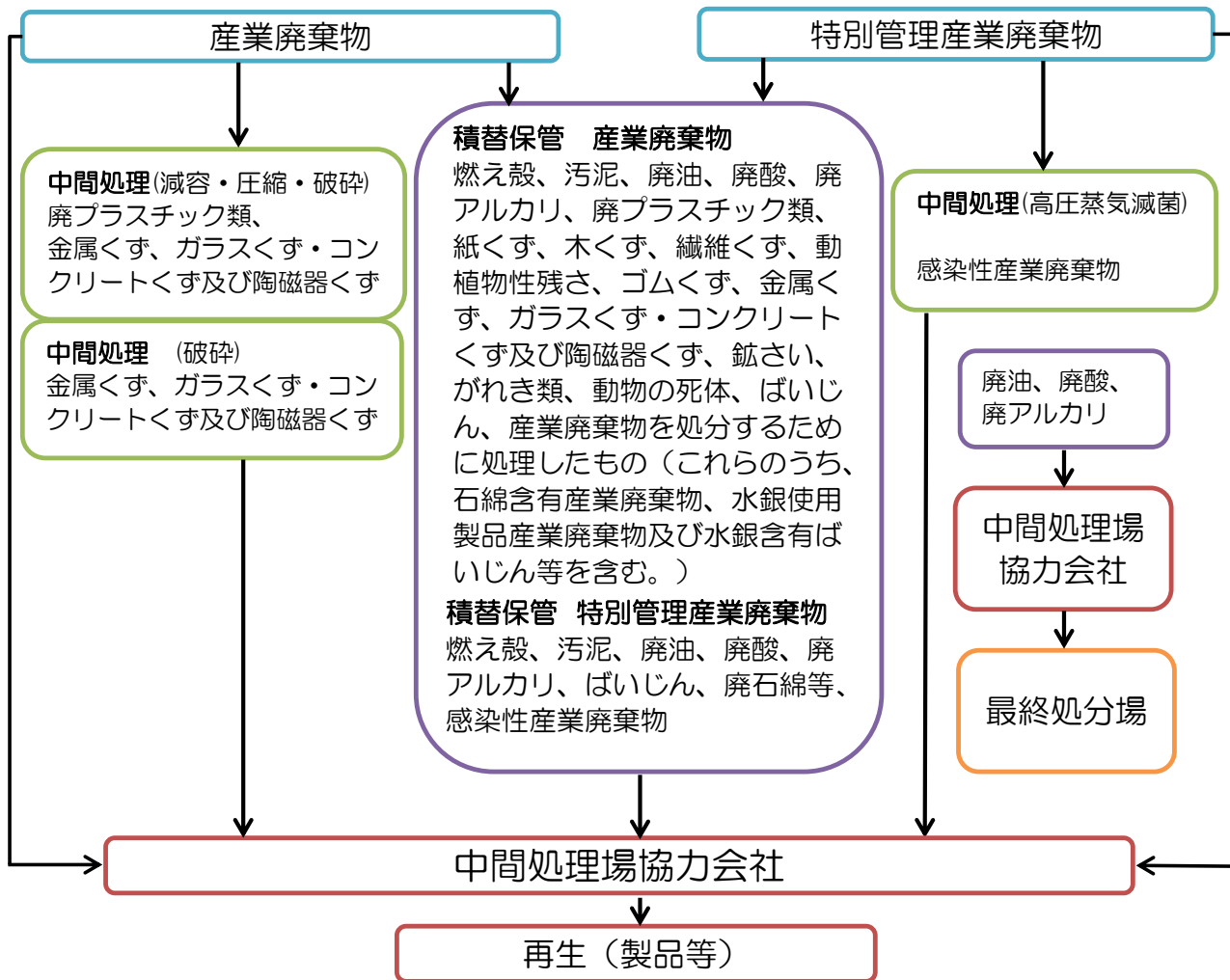
2.組織の概要

10.1. 役割・責任・権限

役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の制定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 ・環境経営システムの定期的見直しの実施 ・社内情報の外部公開可否決定 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認 ・定期的な経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 ・推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 ・環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営レポートの確認
EA21EMS事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開 (事務所への備付けと地域事務局への送付) ・環境関連法規制等の最新版管理 ・プラスチック資源循環促進法の遵守
本社	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・水使用量の管理 ・紙購入枚数・使用枚数の管理 ・ガソリン使用量の管理
岡山・倉敷事業所 高知事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・水使用量の管理 ・軽油消費量の管理 ・産業廃棄物収集運搬におけるエコドライブ等の推進・車両整備管理 ・運搬車両の配車計画 ・廃棄物処理量の集計 ・自社廃棄物のリサイクル推進
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・自らが組織の中でどのような役割を担っているのかを確認し、環境管理責任者の指示のもとに行動する。

2.組織の概要

11. (特別管理)産業廃棄物処理フロー図



12. 許可の内容

- 処理業許可 別紙-1に記載
- 産業廃棄物収集運搬業許可 別紙-2に記載
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可 別紙-3に記載

13. 施設等の状況

(1) (特別管理)産業廃棄物収集運搬車両

バン	12台	(13t車2台、8t車2台、4t車4台、1t車4台)
普通自動車	2台	
フォークリフト	5台	

処理業の許可（他の都道府県・政令市のものを含む）を有している場合はその許可番号

都道府県・市区名	区 分	許 可 番 号	許 可 年 月 日	有 効 年 月 日
処分業				
倉敷市	産業廃棄物	10020001510	令和3年4月22日	令和8年3月27日
	特別管理産業廃棄物	10070001510	令和5年7月6日	令和12年6月25日
収集運搬業・積替保管含む				
岡山県	産業廃棄物	03313001510	令和3年8月16日	令和10年8月15日
	特別管理産業廃棄物	03363001510	令和5年5月24日	令和12年5月23日
倉敷市	産業廃棄物	10010001510	令和3年9月29日	令和10年8月15日
	特別管理産業廃棄物	10060001510	令和5年7月6日	令和12年5月23日
高知県	産業廃棄物	03910001510	令和2年6月4日	令和6年4月25日
	特別管理産業廃棄物	03960001510	令和2年6月4日	令和6年4月25日
収集運搬業・積替保管除く				
兵庫県	産業廃棄物	02804001510	令和元年12月27日	令和6年12月26日
	特別管理産業廃棄物	02854001510	令和元年12月27日	令和6年12月26日
鳥取県	産業廃棄物	03101001510	令和3年10月16日	令和10年10月15日
	特別管理産業廃棄物	03151001510	令和5年6月29日	令和12年6月28日
島根県	産業廃棄物	03200001510	令和2年1月12日	令和7年1月11日
	特別管理産業廃棄物	3250001510	令和5年1月29日	令和12年1月28日
山口県	産業廃棄物	03500001510	令和3年8月9日	令和10年8月8日
	特別管理産業廃棄物	03550001510	令和5年5月21日	令和12年5月20日
広島県	産業廃棄物	03400001510	令和2年1月13日	令和7年1月12日
	特別管理産業廃棄物	03450001510	令和2年1月13日	令和7年1月12日
香川県	産業廃棄物	03709001510	令和元年5月23日	令和6年5月5日
	特別管理産業廃棄物	03759001510	令和元年5月23日	令和6年5月5日
愛媛県	産業廃棄物	03807001510	令和2年12月24日	令和7年12月17日
	特別管理産業廃棄物	3857001510	令和2年12月24日	令和7年12月17日
徳島県	産業廃棄物	3600001510	平成31年3月30日	令和6年3月29日
	特別管理産業廃棄物	3650001510	平成31年3月30日	令和6年3月29日
福岡県	産業廃棄物	04000001510	令和2年11月1日	令和7年10月31日
	特別管理産業廃棄物	04050001510	令和2年11月1日	令和7年10月31日
大阪府	産業廃棄物	02700001510	令和3年3月2日	令和8年3月1日
	特別管理産業廃棄物	02750001510	令和3年3月2日	令和8年3月1日
京都府	産業廃棄物	02600001510	令和3年5月7日	令和8年4月8日
	特別管理産業廃棄物	02650001510	令和3年5月7日	令和8年4月8日
奈良県	産業廃棄物	02900001510	令和3年4月27日	令和8年4月26日
	特別管理産業廃棄物	02950001510	令和3年4月27日	令和8年4月26日
滋賀県	産業廃棄物	02501001510	令和4年10月10日	令和11年10月9日
	特別管理産業廃棄物	02551001510	令和4年10月10日	令和11年10月9日
和歌山県	産業廃棄物	03000001510	令和4年6月22日	令和11年5月15日
	特別管理産業廃棄物	03050001510	令和4年6月22日	令和11年5月15日
愛知県	産業廃棄物	02300001510	平成31年3月14日	令和6年2月5日
	特別管理産業廃棄物	02350001510	平成31年3月14日	令和6年2月5日
三重県	産業廃棄物	02400001510	令和5年3月28日	令和12年2月24日
	特別管理産業廃棄物	02450001510	令和5年3月28日	令和12年2月24日
長野県	産業廃棄物	2009001510	平成31年2月24日	令和6年2月23日
	特別管理産業廃棄物	2059001510	平成31年2月24日	令和6年2月23日
東京都	産業廃棄物	1300001510	令和4年11月11日	令和11年11月10日
	特別管理産業廃棄物	1350001510	令和4年11月11日	令和11年11月10日
神奈川県	産業廃棄物	01403001510	平成31年3月12日	令和5年12月9日
	特別管理産業廃棄物	01453001510	平成31年3月12日	令和5年12月9日
埼玉県	産業廃棄物	01101001510	平成31年3月18日	令和6年2月11日
	特別管理産業廃棄物	01151001510	平成31年3月18日	令和6年2月11日
千葉県	産業廃棄物	01200001510	平成31年4月12日	令和6年2月15日
	特別管理産業廃棄物	01250001510	平成31年4月12日	令和6年2月15日
茨城県	産業廃棄物	00801001510	令和5年1月25日	令和11年12月2日
	特別管理産業廃棄物	00851001510	令和5年1月25日	令和11年12月2日

〈産業廃棄物収集運搬業許可〉

●：許可取得

府・県名		岡山県	倉敷市	兵庫県	鳥取県	島根県	山口県	広島県	香川県	愛媛県	徳島県	高知県	福岡県	大阪府	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	愛知県	三重県	長野県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	茨城県	
燃え殻		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	
汚泥		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃油		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃酸		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃アルカリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃プラスチック類		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
紙くず		●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
木くず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
繊維くず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
動植物性残さ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ゴムくず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金属くず		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ガラスくず等		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
鋳さい		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
がれき類		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
動物(家畜)の死体		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ばいじん(ダスト類)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物処理物 政令第2条第13号廃棄物		●	●			●	●		●	●		●	●					●			●	●	●		●		●
動物系固形不要物																							●				
石綿含有産業廃棄物		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水銀使用製品産業廃棄物		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水銀含有ばいじん等	燃え殻	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	汚泥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ばいじん	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

〈特別管理産業廃棄物収集運搬業許可〉

●:許可取得

種類	府・県名	岡山県	倉敷市	兵庫県	鳥取県	島根県	山口県	広島県	香川県	愛媛県	徳島県	高知県	福岡県	大阪府	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	愛知県	三重県	長野県	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	茨城県
廃油		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃酸		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃アルカリ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
感染性産業廃棄物		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃石綿等		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
燃え殻		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●			●	
汚泥		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	
ばいじん		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●	●			●	
銲さい						●			●				●	●						●						
産業廃棄物処理物 政令第2条第13号廃棄物						●							●													

2.組織の概要

(2) 積替保管施設

1. 岡山事業所

所在地	岡山県都窪郡早島町大字早島字真磯720番1、721番	
面積	1243㎡	
保管上限	産業廃棄物：105㎡（容器保管）	特別管理産業廃棄物：87.3㎡（容器保管）
産業廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、動物の死体、ばいじん、産業廃棄物処理物（これらのうち、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。） 以上18種類	
廃特 棄別 物管 の理 種産 類業	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん 以上8種類	

2. 倉敷事業所

所在地	岡山県倉敷市茶屋町早沖字四番川1203番1	
面積	産業廃棄物：97.11㎡	特別管理産業廃棄物：119.4㎡
保管上限	産業廃棄物：47.6 t（容器保管）	特別管理産業廃棄物：69.6 t（容器保管）
産業廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）、鋳さい、がれき類、動物の死体（30日令未満の鶏に限る。）、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの（これらのうち、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。） 以上18種類	
廃特 棄別 物管 の理 種産 類業	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿等、燃え殻、汚泥、ばいじん 以上8種類	

3. 高知事業所

所在地	高知県南国市久礼田506番地1、506番地4、506番地5、506番地6	
面積	産業廃棄物：45.8㎡	特別管理産業廃棄物：21.8㎡
保管上限	産業廃棄物：88.9㎡(容器保管)	特別管理産業廃棄物：34.3㎡(容器保管)
産業廃棄物の種類	燃え殻(*3を含む。)、汚泥(*1、*2、*3を含む。)、廃油、廃酸(*3を含む。)、廃アルカリ(*3を含む。)、廃プラスチック類(*1、*2を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず(*2を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(*1、*2を含む。)、鋳さい(*3を含む。)、がれき類(*1を含む。)、動物の死体(30日令未満の鶏に限る。)、ばいじん(*3を含む。)、政令第2条第13号廃棄物 以上18種類	
廃特別物の理産種類業	廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿等、ばいじん、燃え殻、汚泥 以上8種類	

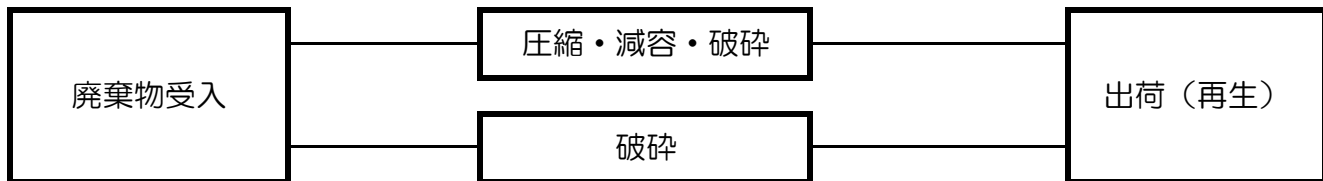
2.組織の概要

(3) 中間処理施設

●産業廃棄物処分量

許可番号	第10020001510号
事業の区分	中間処理（圧縮・減容・破砕、破砕）
取り扱う産業廃棄物の種類(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。)	[圧縮・減容・破砕] 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず(これらのうち、自動車等破砕物を除く。)
	[破砕] 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず
(1) 施設の種類の種類	圧縮・減容・破砕施設
設置場所	岡山県倉敷市茶屋町早沖字四番川1203番1
設置年月日	平成27年2月18日
処理能力	廃プラスチック類 1.92t/日 金属くず 7.68t/日 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず 6.72t/日
(2) 施設の種類の種類	破砕施設
設置場所	岡山県倉敷市茶屋町早沖字四番川1203番1
設置年月日	平成29年9月22日
処理能力	金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず 1.9t/日

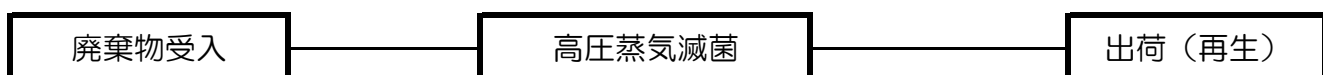
(処理工程図)



●特別管理産業廃棄物処分量

許可番号	第10070001510号
事業の区分	中間処理（高圧蒸気滅菌）
取り扱う産業廃棄物の種類(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。)	感染性産業廃棄物
施設の種類の種類	高圧蒸気滅菌施設 2基
設置場所	岡山県倉敷市茶屋町早沖字四番川1203番1
設置年月日	平成27年2月18日
処理能力	14.1m ³ /日/基

(処理工程図)



3.環境負荷の実績

1. 環境負荷の実績(2022年8月-2023年7月)

下記表は、2020年度(2020年8月-2021年7月)を基準に2022年度(2022年8月-2023年7月)の「二酸化炭素排出量」、「廃棄物排出量」(自社排出)、「廃棄物排出量」(中間処理後)、「一般廃棄物排出量」、「水使用量」と、事業活動に関連する「廃棄物収集運搬量」、「運搬量(1m³)当たりの軽油消費量」の実績です。

なお、「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数は、本社は 0.318kg-CO₂/kWh(関西電力)、岡山事業所、倉敷事業所は 0.585kg-CO₂/kWh(中国電力)を使用しています。(2019年度実績使用)高知事業所は0.574kg-CO₂/kWh(四国電力)を使用しています。(2020年度実績使用)高知事業所は2021年8月より、取組み開始。

項目		単位	2020年度(基準年度) (2020年8月-2021年7月)	2022年度 (2022年8月-2023年7月)
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	205,468	211,139
二酸化炭素排出量内訳	電気 (本社)	kWh	8,960	8,004
		kg-CO ₂	2,849	2,545
	電気 (岡山事業所)	kWh	3,488	3,911
		kg-CO ₂	2,040	2,288
	電気 (倉敷事業所)	kWh	2,982	5,394
		kg-CO ₂	1,744	3,155
	電気 (高知事業所)	kWh	3,248	4,034
		kg-CO ₂	1,864	2,316
	ガソリン (本社)	L	2,147	2,856
		kg-CO ₂	4,981	6,626
	ガソリン (岡山・倉敷事業所)	L	786	499
		kg-CO ₂	1,824	1,157
	軽油 (岡山・倉敷事業所)	L	69,211	68,972
		kg-CO ₂	178,564	177,947
軽油 (高知事業所)	L	3,452	4,267	
	kg-CO ₂	8,906	11,008	
軽油 (フォークリフト) 岡山・倉敷事業所	L	805	1,350	
	kg-CO ₂	2,077	3,483	
軽油 (フォークリフト) 高知事業所	L	240	238	
	kg-CO ₂	619	614	
産業廃棄物排出量(自社排出)		kg	6,660.5	3,450.0
産業廃棄物排出量(中間処理後)		m ³	36.7	49.1
一般廃棄物排出量		kg	435.0	235
水使用量(本社)		m ³	41.5	35.0
水使用量(岡山・倉敷事業所)		m ³	176.5	77.0
水使用量(高知事業所)		m ³	6.0	6.0
廃棄物収集運搬量(岡山・倉敷事業所)		m ³	7,304	7,248
廃棄物収集運搬量(高知事業所)		m ³	1,274	2,211
廃棄物収集運搬量(合計)		m ³	8,578	9,484.7
運搬量(1m ³)当たりの軽油消費量		L/m ³	8.5	7.7

※LPGに関しては、Co2排出量の影響が少ないため活動から除外する。

※岡山・倉敷事業所のガソリンと高知事業所の水使用量の基準年度は2021年度使用

4.環境経営目標及びその実績

1-1 中長期目標

項目	年度	基準値 2020年度 2020年8月～ 2021年7月	2022年度 2022年8月～ 2023年7月	2023年度 2023年8月～ 2024年7月	2024年度 2024年8月～ 2025年7月	2025年度 2025年8月～ 2026年7月	2026年度 2026年8月～ 2027年7月
			目標	目標	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素	kg-CO ₂	205,468	203,413	201,359	199,304	197,249	195,195
排出量合計	対基準 (%)	100	△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
本社 電力使用量削減	kWh	8,960	8,781	8,691	8,602	8,512	8,422
	kg-CO ₂	2,849	2,792	2,764	2,735	2,707	2,678
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
岡山事業所・倉敷事業所 電力使用量削減	kWh	6,470	6,341	6,276	6,211	6,147	6,082
	kg-CO ₂	3,785	3,709	3,671	3,634	3,596	3,558
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
高知事業所 電力使用量削減	kWh	3,248	3,183	3,151	3,118	3,086	3,053
	kg-CO ₂	1,864	1,299	1,285	1,272	1,259	1,246
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
本社 ガソリン使用量削減	L	2,147	2,104	2,083	2,061	2,040	2,018
	kg-CO ₂	4,981	4,881	4,832	4,782	4,732	4,682
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
岡山事業所・倉敷事業所 ガソリン使用量削減 基準値は2021年度使用	L	786	778	770	762	755	747
	kg-CO ₂	1,824	1,805	1,787	1,769	1,751	1,732
	対基準 (%)	100	△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
岡山事業所・倉敷事業所 軽油使用量削減	L	69,211	67,827	67,135	66,443	65,750	65,058
	kg-CO ₂	178,564.5	174,993	173,208	171,422	169,636	167,851
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
高知事業所 軽油使用量削減	L	3,452	3,383	3,348	3,314	3,279	3,245
	kg-CO ₂	8,905	8,727	8,638	8,549	8,460	8,371
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
収集運搬における環境配慮 (岡山事業所・倉敷事業所) (事業所内で使用する重機 の軽油使用量の削減)	L	805	789	781	773	765	757
	kg-CO ₂	2,077	2,035	2,015	1,994	1,973	1,952
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
収集運搬における環境配慮 (高知事業所) (事業所内で使用する重機 の軽油使用量の削減)	L	240	235	233	230	228	226
	kg-CO ₂	619	607	601	594	588	582
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%

1.2 中長期目標

項目	年度	基準値 2020年度 2020年8月～ 2021年7月	2022年度 2022年8月～ 2023年7月	2023年度 2023年8月～ 2024年7月	2024年度 2024年8月～ 2025年7月	2025年度 2025年8月～ 2026年7月	2026年度 2026年8月～ 2027年7月
			目標	目標	目標	目標	目標
軽油使用量の効率化 (収集運搬車の燃費向上)	(L/m ³)	8.5	8.3	8.2	8.2	8.1	8.0
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
Ⅱ.水使用量の削減 本社	m ³	41.5	40.7	40.3	39.8	39.4	39.0
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
Ⅱ.水使用量の削減 岡山・倉敷事業所	m ³	176.5	173.0	171.2	169.4	167.7	165.9
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
Ⅱ.水使用量の削減 高知事業所 基準値は2021年度使用	m ³	6.0	5.9	5.9	5.8	5.8	5.7
	対基準 (%)	100	△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
Ⅲ.リサイクル処理の推進 自社排出廃棄物の リサイクル推進	排出廃棄物量(kg)	6,660.5	-	-	-	-	-
	リサイクル 処理量(kg)	5,000.5	-	-	-	-	-
	リサイクル化率 対基準 (%)	75	100	100	100	100	100
	(基準年度が100%の場 合は維持。それ以外は 1%増)	77	76	77	78	79	80
Ⅳ.ペーパーレス化の推進 紙使用量の削減 (ペーパーレス化)	枚数	28,453	27,884	27,599	27,315	27,030	26,746
	対基準 (%)	100	△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
Ⅴ.環境関連活動	環境に配慮したサービス 及びお客様の環境負荷の 低減及びSDGsの達成に 貢献する。	(1)数値目標は定めず、お客様にメスキュードシステムを勧める。 (2)研修会に参加する					
	環境関連法規制等の 遵守	法規制等の無違反					
	環境経営方針を全従業員 に周知し、環境意識 の向上を図り、環境に 配慮した行動の定着を 目指す。	環境会議を3ヶ月に1度実施する。 産廃協会主催の清掃活動へ参加する。					
	運用マニュアル(文書管 理)・資材管理を徹底し、資 材使用の効率化、保管整理に 係る作業コストの削減を図 り、環境負荷を軽減する。	数値目標は定めず、運用マニュアル(文書管理)・資材管理の徹底を行う。					

「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数は、本社は0.318kg-CO₂/kWh(関西電力)、岡山事業所、倉敷事業所は0.585kg-CO₂/kWh(中国電力)、高知事業所は0.574kg-CO₂/kWh(四国電力)を使用しています。(2020年度実績使用)

高知事業所は2021年8月より、取組み開始。

5.環境経営目標及びその実績

2-1 実績と評価

項目	年度	基準値 2020年度 2020年8月～ 2021年7月	実績と評価				
			2022年度（2022年8月～2023年7月）				
			目標	実績	達成度（%）		評価
I. 1 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	205,468	203,413	211,139	104	4%増	△
	対基準（%）	100	△1%	-			
本社 電力使用量削減	kWh	8,960	8,781	8,004	91	9%減	○
	kg-CO ₂	2,849	2,792	2,545			
	対基準（%）	100	△2%	-			
岡山事業所・倉敷事業所 電力使用量削減	kWh	6,470	6,341	9,305	147	47%増	×
	kg-CO ₂	3,785	3,709	5,443			
	対基準（%）	100	△2%	-			
高知事業所 電力使用量削減	kWh	3,248	3,183	4,034	127	27%増	×
	kg-CO ₂	1,864	1,827	2,316			
	対基準（%）	100	△2%	-			
本社 ガソリン使用量削減	L	2,147	2,104	2,856	136	36%増	×
	kg-CO ₂	4,981	4,881	6,626			
	対基準（%）	100	△2%	-			
岡山事業所・倉敷事業所 ガソリン使用量削減	L	786	778	499	64	36%減	○
	kg-CO ₂	1,824	1,805	1,157			
	対基準（%）	100	△1%	-			
岡山事業所・倉敷事業所 軽油使用量削減	L	69,211	67,827	68,972	102	2%増	△
	kg-CO ₂	178,565	174,993	177,947			
	対基準（%）	100	△2%	-			
高知事業所 軽油使用量削減	L	3,452	3,383	4,267	126	26%増	×
	kg-CO ₂	8,905.5	8,727.4	11,008			
	対基準（%）	100	△2%	-			
収集運搬における環境配慮(岡 山事業所・倉敷事業所) (事業所内で使用する重機の 軽油使用量の削減)	L	805	789	1,350	171	71%増	×
	kg-CO ₂	2,077	2,035	3,483			
	対基準（%）	100	△2%	-			
収集運搬における環境配慮(高 知事業所) (事業所内で使用する重機の 軽油使用量の削減)	L	240	235	238	101	1%増	△
	kg-CO ₂	619	607	614			
	対基準（%）	100	△2%	-			

4.環境経営目標及びその実績

2-2 実績と評価

Ⅱ.※1 軽油使用量の効率化 (収集運搬車の燃費向上)	(L/m ³)	8.5	8.3	7.7	92	8%減	○
	対基準 (%)	100	△2%	-			
Ⅲ.1水使用量の削減 本社	m ³	41.5	40.7	31.0	76	24%減	○
	対基準 (%)	100	△2%	-			
Ⅲ.2水使用量の削減 岡山・倉敷事業所	m ³	176.5	173.0	77.0	45	55%減	○
	対基準 (%)	100	△2%	-			
Ⅲ.3水使用量の削減 高知事業所	m ³	6.0	5.9	5.0	84	16%減	○
	対基準 (%)	100	△1%	-			
Ⅳ.リサイクル処理の推進 自社排出廃棄物の リサイクル推進	排出廃棄物量 (kg)	6,660.5	-	4,198.5	4%減		△
	リサイクル 処理量 (kg)	5,000.5	-	2,998.5			
	リサイクル化率 (%)	75	77	71			
	対基準 (%) (基準年度が100%の場 合は維持。それ以外は 1%増)	76	1%増	-			
Ⅴ.ペーパーレス化の推進 紙使用量の削減 (ペーパーレス化)	枚数	28,453	27,884	29,829	107	7%増	×
	対基準 (%)	100	△2%	-			
Ⅵ.環境関連活動	環境に配慮したサービス 及びお客様の環境負荷の 低減及びSDGsの達成に 貢献する。	(1)数値目標は定めず、お客様に メスキュードシステムを勧める。 (2)研修会に参加する		(1)問い合わせや既存顧客の品目追加により、メスキュードシステム(リサイクル)の契約を増やせた。 (2)ホムレックス防止研修を動画視聴により実施。その原因・要因を客観的に捉えることができた。目視だけではなく、行動を伴った確認が重要である。			
	環境関連法規制等の 遵守	法規制等の無違反		違反なし			
	環境経営方針を全従業員 に周知し、環境意識の向 上を図り、環境に配慮し た行動の定着を目指す。	環境会議を3ヶ月に1度実施す る。 産廃協会主催の清掃活動へ参加す る。		環境会議の実施済み コロナウイルスの影響で今年度は中止			
	運用マニュアル(文書管 理)・資材管理を徹底し、資 材使用の効率化、保管整理に 係る作業コストの削減を図 り、環境負荷を軽減する。	数値目標は定めず、運用マニ ュアル(文書管理)・資材管理の徹底 を行う。		文書管理を行うことで、スムーズな行動が 可能になった。また、資材管理の徹底を行 うことで、作業場が確保でき、荷積み・荷 下ろしの時間削減に繋がった。			

注) 評価欄 ○:達成、△:やや未達成、×:未達成

「二酸化炭素排出量」の購入電力排出係数
 本社は 0.318kg-CO₂/kWh(関西電力)
 岡山事業所、倉敷事業所は0.585kg-CO₂/kWh(中国電力)
 高知事業所は0.574kg-CO₂/kWh(四国電力)を使用しています。
 (2020年度実績使用)

高知事業所は2021年8月より、取組み開始。

※1 軽油使用量の効率化算出方法

軽油使用量(L)/収集運搬量(m³)
 2020年8月-2021年7月の軽油と収集運搬量(基準年)
 軽油(収集運搬) 72,663L
 収集運搬量 8,578m³

2022年8月-2023年7月の軽油と収集運搬量実績
 軽油(収集運搬) 73,238L
 収集運搬量 9,484.7m³

6.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	コメント
電力による二酸化炭素排出量の削減（本社）			
数値目標	○		
1) パソコン・コピー機を省電力設定にする	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みました。結果は二酸化炭素排出量が9%削減することができました。 次年度も節電意識を高め、引き続き取組みを継続します。
2) エアコンの設定温度を守る（冷房28度、暖房20度）	○	継続	
3) エアコンの使用を最小限に抑える（窓の開閉などが出来る気候の場合）	○	継続	
4) 空調機のフィルターの定期清掃を行う（月1回）	○	継続	
5) コピー機のカラー印刷をなるべくモノクロ印刷で行う。	○	継続	
6) 給湯室、洗面所の電気の消し忘れをなくす	○	継続	
7) 適宜、省エネ型照明器具へ切り替える。	○	継続	
電力による二酸化炭素排出量の削減（岡山事業所・倉敷事業所）			
数値目標	×		
1) パソコン・コピー機を省電力設定にする	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組んだところ、目標値よりも47%増加しました。コロナ感染対策の換気による影響でエアコンの使用量が増えています。 引き続き、その他の取組みを継続しますが、次年度は2022年度を基準値として設定し、目標を再設定します。
2) エアコンの設定温度を守る（冷房28度、暖房20度）	×	強化	
3) エアコンの使用を最小限に抑える（窓の開閉などが出来る気候の場合）	×	強化	
4) 空調機のフィルターの定期清掃を行う（月1回）	○	継続	
5) コピー機のカラー印刷をなるべくモノクロ印刷で行う。	○	継続	
6) 給湯室、洗面所の電気の消し忘れをなくす	○	継続	
7) 適宜、省エネ型照明器具へ切り替える。	△	継続	
電力による二酸化炭素排出量の削減（高知事業所）			
数値目標	×		
1) パソコン・コピー機を省電力設定にする	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組んだところ、目標値よりも27%増加しました。コロナ感染対策の換気による影響でエアコンの使用量が増えています。 エアコンのON・OFFを徹底し、引き続きその他の取組みを継続しますが、次年度は2022年度を基準値として設定し、目標を再設定します。
2) エアコンの設定温度を守る（冷房28度、暖房20度）	×	強化	
3) エアコンの使用を最小限に抑える（窓の開閉などが出来る気候の場合）	△	強化	
4) 空調機のフィルターの定期清掃を行う（月1回）	○	継続	
5) コピー機のカラー印刷をなるべくモノクロ印刷で行う。	○	継続	
6) 給湯室、洗面所、エアコンの電気の消し忘れをなくす	×	強化	
7) 適宜、省エネ型照明器具へ切り替える。	△	継続	
ガソリンによる二酸化炭素排出量の削減（本社）			
数値目標	×		
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて環境活動計画に取り組みましたが、目標値よりも36%増加しました。 出張等のイレギュラー要素のため、次年度も引き続き取組みを実施します。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	○	継続	
3) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
4) 適正な車両の整備	○	継続	
5) 空ぶかしをしない	○	継続	
ガソリンによる二酸化炭素排出量の削減（岡山・倉敷事業所）			
数値目標	○		
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2021年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みました。結果は二酸化炭素排出量が36%削減することができました。 収集運搬車両をガソリン車から軽油車両に切替えた影響が大きいため、次年度の基準値は、今年度の実績値を使用して取組みを継続していきます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	○	継続	
3) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
4) 適正な車両の整備	○	継続	
5) 空ぶかしをしない	○	継続	
6) 運転ルートのチェック	○	継続	
軽油による二酸化炭素排出量の削減（岡山・倉敷事業所）			
数値目標	△		
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みました。結果は二酸化炭素排出量が2%増加しました。 主に、コロナ関連廃棄物の増加に伴い収集運搬車の稼働が増加したと考えられるため、次年度も同様の取組みを継続してきます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	△	強化	
3) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
4) 適正な車両の整備	○	継続	
5) 空ぶかしをしない	○	継続	
6) 運転ルートのチェック	△	強化	
軽油による二酸化炭素排出量の削減（高知事業所）			
数値目標	×		
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みました。結果は二酸化炭素排出量が26%増加しました。 主に、コロナ関連廃棄物の増加に伴い収集運搬車の稼働が増加したと考えられるため、次年度も同様の取組みを継続してきます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	△	強化	
3) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
4) 適正な車両の整備	○	継続	
5) 空ぶかしをしない	○	継続	
6) 運転ルートのチェック	△	強化	

収集運搬における環境配慮 岡山・倉敷事業所(フォークリフトの軽油使用量の削減)			
数値目標			
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みましたが、コロナ廃棄物の増加により、軽油使用量が71%増加しました。次年度の基準値は、今年度の実績値を使用して取組みを継続していきます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	×	強化	
3) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
4) 適正な車両の整備	○	継続	
収集運搬における環境配慮 高知事業所(フォークリフトの軽油使用量の削減)			
数値目標			
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて、環境活動計画に取り組みましたが、コロナ廃棄物の増加により、軽油使用量が1%増加しました。アイドリングストップは、今後も引き続き、意識を高めながら取り組みます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	○	継続	
3) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
4) 適正な車両の整備	○	継続	
自動車燃料による軽油使用量の効率化(収集運搬車の燃費向上)			
数値目標			
1) 急発進・急加速の禁止	○	継続	2020年度の実績を基準にした目標に向けて取り組んだところ、結果は運搬1mあたりの軽油使用量は8%削減できました。次年度も引き続き、意識を高め取組みを継続していきます。
2) アイドリングストップ等のエコドライブをする	○	継続	
3) 運搬車両に不必要な物を積まない	○	継続	
4) エアコンの使用を最小限に抑える(窓の開閉などが出来る気候の場合)	○	継続	
5) タイヤの空気圧チェック	○	継続	
6) 運転ルートのチェック	○	継続	
水使用量削減(節水の取組) 本社			
数値目標			
1) 使用の都度、止水を行う	○	継続	目標に向けて取り組んだところ、結果は24%削減できました。次年度も引き続き、節水意識を高め取組みます。次年度の基準値は、今年度の実績値を使用して取組みを継続していきます。
2) 水道配管からの漏水を定期的に点検する	○	継続	
3) 蛇口の閉め忘れの確認を行う	○	継続	
水使用量削減(節水の取組) 岡山・倉敷事業所			
数値目標			
1) 洗車の際、こまめに水量の調節を行う	○	継続	目標に向けて取り組んだところ、結果は55%削減できました。次年度も引き続き、節水意識を高め取組みます。次年度の基準値は、今年度の実績値を使用して取組みを継続していきます。
2) 使用の都度、止水を行う	○	継続	
3) 水道配管からの漏水を定期的に点検する	○	継続	
4) 蛇口の閉め忘れの確認を行う	○	継続	
水使用量削減(節水の取組) 高知事業所			
数値目標			
1) 洗車の際、こまめに水量の調節を行う	○	継続	2021年度の実績を基準にした目標に向けて取り組んだところ、16%削減できました。次年度も引き続き節水意識を高め取組みます。
2) 使用の都度、止水を行う	○	継続	
3) 水道配管からの漏水を定期的に点検する	○	継続	
4) 蛇口の閉め忘れの確認を行う	○	継続	
自社排出廃棄物のリサイクル推進			
数値目標			
1) 分別を徹底する。(金属缶、ガラス瓶、プラスチック、電池等)	○	継続	自社廃棄物のリサイクル率は4%減少しました。原因は、事業所内の不要になった雑品(梱包用パレット等)をスポットで排出したことが主な要因です。今後、リサイクル意識の向上や、リサイクル処理先の確保をすすめます。
2) 再利用・再生利用の比率を上げる。	△	強化	
3) 従業員のリサイクルに対する意識を高める。(環境方針・目標・活動計画の周知)	△	強化	
紙使用量の削減(ペーパーレス化)			
数値目標			
1) 使用済み用紙の裏紙を利用する	○	継続	目標に向けて取り組んだところ、結果は7%増加しました。引き続き、取組みを継続していきます。
2) 両面印刷、両面コピーを実施する	○	継続	
3) PDF化して管理する。	△	強化	
環境関連活動			
目標			
1) 環境関連法規等を遵守する。	○	継続	問い合わせや既存顧客の品目追加により、メスキュードシステム(リサイクル)の契約を増やせた。
2) お客様にリサイクル処理を勧める。	○	継続	
3) 産廃協会主催の清掃活動に参加する。	△	今年度中止	パレートの防止研修を動画視聴により実施。この原因・要因を客観的に捉えることができた。目視だけではなく、行動を伴った確認が重要である。
4) 運用マニュアル(文書管理)・資材管理の徹底	○	継続	

7.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

1. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

関連法規等	遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・委託契約書 ・マニフェストの管理 ・収集運搬実績報告 ・処分実績報告 ・業許可の更新手続き ・保管基準の遵守 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ・運搬車両への表示義務、書類携行 ・水銀関係廃棄物に係る廃棄物処理法施行令 	適合
自動車NO _x ・PM法	<ul style="list-style-type: none"> ・対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用（車種規制） 	適合
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・消火設備の設置 ・事故時の措置と届出（通報） 	適合
道路運送車両法	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検整備 ・定期点検・整備 ・点検/整備記録、保存 	適合
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフト 定期自主検査 ・第一種圧力容器 定期自主検査 	適合
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・該当する設備の簡易点検 ・フロン回収行程管理票の管理 	適合

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等の法令違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

2. 教育訓練について

年間教育計画書に基づいて、産業廃棄物の適正処理、環境経営に関する教育を年1回以上行っています。

当社の事業活動に関する環境法令の中で特に重要なものの一つ「廃掃法」については、改正が多いため、改正情報の入手が重要となります。そのため当社では、加盟している産業廃棄物協会からの通知や、インターネットの活用、自治体に問い合わせ等の方法で入手しています。

改正の都度、教育訓練を行う事で法令等の遵守に対応しています。

また、年1回、防災訓練（火災、イレギュラー時の想定）を行っています。

8.代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクションの活動も3年目に入り、色々な場面で一人一人が意識して行動しているよう感じられます。

新たな取り組みとしては、オペレーションミス防止講習を全従業員で受講しました。

作業のミスを減らし業務を効率化することで、資材や時間の無駄遣いを減らすことを目的に取り組みました。

この取り組みもエコアクションをきっかけとした行動になります。

環境負荷の実績としては、電気の使用による二酸化炭素排出量や、軽油使用量及び軽油使用量の効率化の実績は前年度比で増加し、目標未達成となりました。

前年に続き、コロナ禍に伴う事業活動の増加による影響が原因です。

この機会にコロナ禍前に設定した目標基準値について、次年度以降見直すよう考えております。

次年度以降も、各自が高い意識を持って活動計画に取り組み、目標を達成するよう、引き続き、環境に配慮した経営に取り組んで参ります。